



©K.Miura

美しい時代へ

B
I
T
O
K
I

美しい時代へ
——東急グループ

第155期中間 株主通信

(2023年4月1日から2023年9月30日まで)

証券コード：9005

株主通信「美とき」に込めた想い

東急グループは、グループスローガンとして「美しい時代へ」を掲げています。このスローガンには、東急グループが美しい生活環境を創る先駆者になる決意が込められています。

本誌のタイトル「美とき」は、「美しい時代へ」の“美”と“とき(時)”を組み合わせ名付けました。私たちが“美しい”生活環境の創造へと向かう姿を「これまで・いま・これから」それぞれの“とき(時)”からひととき、株主の皆さまへお伝えしたいという想いが込められています。



ごあいさつ

東急株式会社
取締役社長

堀江正博
Masahiro Horie



株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素から格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023年5月の新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い外出の機会は増え、インバウンド需要も回復しています。今後は、この変化をいかに事業機会につなげていくかが焦点となります。

今年度を最終年度とする現中期経営計画は、新型コロナウイルス感染症の影響や、これに伴う社会環境の変化といった厳しい環境下で、「変革」を中心テーマに据え策定し、鉄道事業、百貨店事業、ホテル事業など、特に影響が大きかった事業を中心に、全社の事業構造改革やインバウンド需要取り込みによる収益性の復元、財務健全性の維持に取り組んでまいりました。

業績ハイライト

当第2四半期連結累計期間は、交通事業やホテル・リゾート事業を中心に、利用者数の回復が見られたことに加え、鉄道の運賃改定などにより、営業収益は4,834億円(前年同期比11.2%増)、営業利益は455億円(前年同期比108.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、350億円(前年同期比89.5%増)となりました。

株主・投資家の皆さまへ
<https://www.tokyu.co.jp/ir/investors.html>



決算の堅調な進捗と、今後のさらなる成長に向けて

全社を挙げた事業構造改革の推進による固定費の削減と生産性の向上により、損益分岐点を引き下げることを実現するとともに、日本国内における新型コロナウイルス感染症の収束や、電力コスト高騰が落ち着きを見せたことも追い風となつて、今年度通期の業績予想では、営業利益700億円から、850億円へ上方修正し、新型コロナウイルス感染拡大前2018年度営業利益水準を上回るまで回復する見通しです。

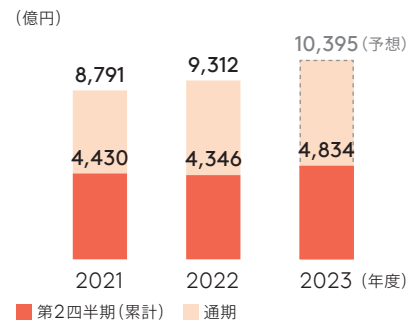
第2四半期決算では、鉄道輸送人員の増加、ホテル需要の回復により営業利益455億円(前年同期比108.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益350億円(前年同期比89.5%増)と、当初計画を上回る着地に向けて、順調な経過を辿っております。

これから、次期中期経営計画を策定してまいります。全社で高まった「変革」の機運を絶やすことなく、成長戦略を打ち出し実行していく必要があると認識しています。さまざまな事業を有機的に融合させ、リピーターを増やし、さらに「孫子の代まで住みたい沿線づくり」を進めていきます。そのために、私自ら積極的に現場に足を運び、まちを訪れ、お客さまのニーズを肌で感じ取りながら、経営の舵取りを行っていく決意です。

当社のまちづくりとクリエイティビティ

創業以来100年、当社はTOD^{※1}(Transit-Oriented Development: 公共交通指向型都市開発)と呼ばれる手法でまちづくりを進化させてきました。網の目のように張り巡らせた鉄道とバスの交通ネットワークを形成し、沿線を中心としたエリアから得た収益を循環的に再投資することによって、継続的にまちをバリューアップさせていく。これこそが当社のビジネスの根幹です。この沿線を中心とする「面」で都市開発を行い、長期視点で生活を豊かにする多彩なサービスを提供する

営業収益



ことで、当社はお客さまからの支持を得てきました。

さらに、当社を語るうえで欠かせないものが、「クリエイティビティ」です。約100年前、東京都市部の住環境悪化が進む中で、当社は東京郊外に鉄道を敷き、住宅地を開発することで、郊外の緑豊かな住宅地から都心へ電車で通勤するという生活スタイルを世に提示しました。洗足や田園調布に代表されるまちづくりでは、財閥系会社が提供しないクリエイティブな価値を提供したことで、お客さまから支持されてきました。

今後も、お客さまはどのような暮らしをしているのか、駅前のスーパーマーケットに何を求めているのか、といったことを注意深く観察し、豊かな生活環境を創るために必要なモノ・コトを徹底して研究してまいります。それを踏まえて社会課題や身近な生活課題に対して常にクリエイティブな視点を持ってソリューションを提供していきたいと考えています。

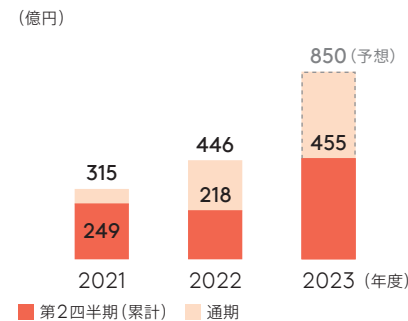
加えて、渋谷や沿線には、クリエイティブな視点に富んだ産業や機能をこれまで以上に集積させたいと考えています。

グローバル企業の新規事業部門などの誘致を進めることで、沿線生活の場そのものを、生活課題のクリエイティブなソリューションを生み出す場にしていきたいと考えています。またエンターテインメント分野はまさにクリエイティブな発想の交流の場であり、ホテルなどの事業にもエンタメ的な要素を取り込み、魅力あるまちづくりを深化させていきたいと考えています。

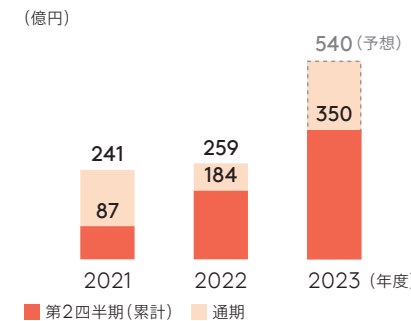
その先例となる「東急歌舞伎町タワー」は、ライブホールや劇場、映画館からなるエンターテインメントとホテルが融合した、国内でも類を見ない都心型複合施設となっています。

また、当社グループの最重要拠点である渋谷は、100年に一度ともいわれる再開発の最中にあります。官民連携も含めた開発計画やまちの魅力向上に資する取り組みを推進するため、まちの動線改良や防災機能の強化など“ハード面”の開発

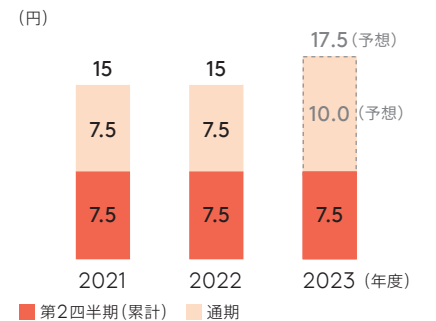
営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



1株あたり配当金



と、まちを運営していく体制構築やブランディング活動などの“ソフト面”の両輪でのまちづくりを実現し、「エンタテイメントシティ」として、渋谷・渋谷初の新しいビジネスやカルチャーを世界に発信してまいります。

このように、エリア価値を向上させる、“東急ならではのまちづくり”を推進し、連結事業利益の柱としての役割を果たすとともに、収益性向上により利益成長を牽引していきます。

対話と発信による丁寧なコミュニケーション

株主の皆さまとの対話に必要なことは、丁寧なコミュニケーションと正確なデータの提供であると考えています。マーケットから強く要請を受けているサステナビリティ関連の情報開示に関しても、当社は早期から対応してきました。まちづくりという事業活動自体がESGやSDGs、持続可能性との関係が深いものであり、TCFD^{※2}(Task Force on Climate-related Financial Disclosures: 気候関連財務情報開示タスクフォース)や災害対策も含め、さまざまな場面でサステナビリティを軸とする取り組みを進めています。今後もマーケットの声に真摯に向き合いつつ、同時に当社の考え・方針をしっかりとお示しすることで、ご理解を得ていく所存です。

今後とも当社ならびに東急グループをご支援くださいますよう、よろしく御願申し上げます。

※1 1993年に米国の建築家ピーター・カルソープが提唱した、自動車脱却社会を目指し公共交通を指向する都市づくりの概念。「沿線」型TODは、TODが世界的に着目される以前から、都心への人口集中に対応した健全な街の成長へと導くため、公共交通の利用を前提として、ターミナル駅および周辺開発とともに交通と郊外住宅地・都市開発の一体整備を行う日本独自の開発モデルであり、当社グループはこれを引き続き深化させてまいります。

※2 世界経済の安定に向けて、金融安定理事会が2015年に設立し、気候変動がもたらすリスクおよび機会の財務的影響を把握し開示することを目的とするタスクフォース。

詳しくは<https://tokyu.disclosure.site/ja/183/>





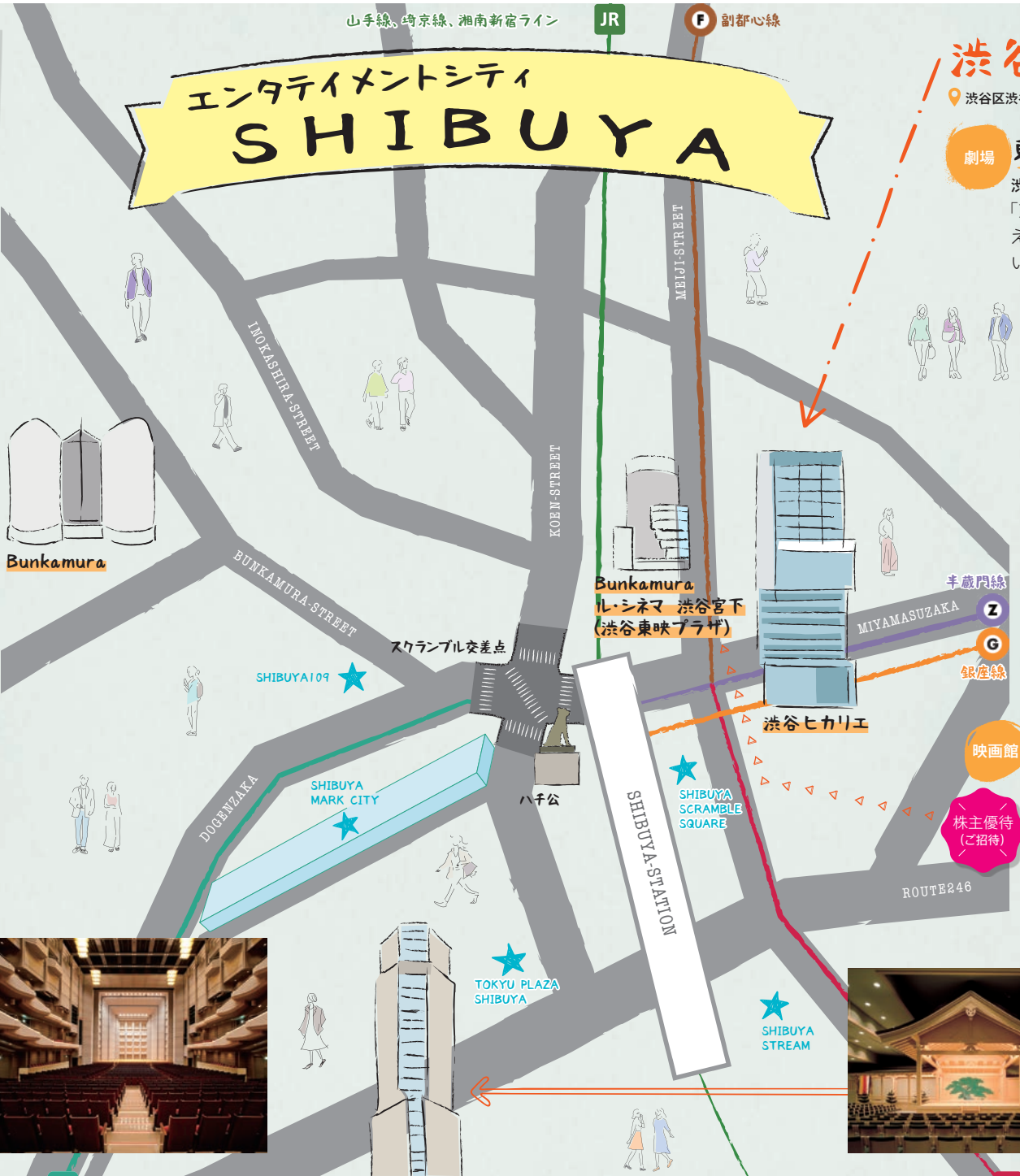
特集 東急の文化施設

創業者五島慶太は、訪れる人々がそれぞれ多
会館」を開業させました。東急グループはこれ
さまの「楽しさ」「豊かさ」「美しさ」を追求した

様な動機で有意義な時間を過ごせるまちづくりをするべく、本拠地である渋谷に、プラネタリウムを擁する「東急文化
からも、「文化大国日本」の一翼を担う企業グループを目指し、交通・不動産事業を基盤に、幅広い分野において、お客
まちづくりを展開していきます。本特集では、東急が提供する文化施設についてご紹介します。

東急文化施設の主なあゆみ

- 1922年 目黒蒲田電鉄(当社の前身)の創立
- 1953年 新日本興業(現・東急レクリエーション)がグループ入り
- 1956年 「東急文化会館」「新宿東急文化会館」開業
- 1960年 「五島美術館」開館
- 1989年 「Bunkamura」開業
- 2001年 「セルリアンタワー能楽堂」開業
- 2012年 「東急シアターオーブ」が「渋谷ヒカリエ」内に開業
- 2023年 「東急歌舞伎町タワー」開業

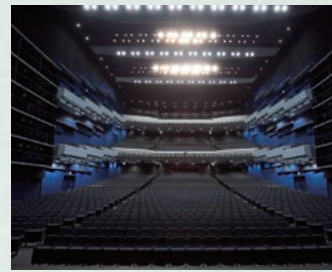
渋谷ヒカリエ Hikarie

渋谷区渋谷2-21-1

劇場 東急シアターオーブ 総客席数：1,972席

渋谷ヒカリエ11階~16階

「東急シアターオーブ」では、ミュージカルをラインナップの中心に据えています。また渋谷駅直結という利便性を活かした、親しみやすい作品を上演することで、観劇文化のすそ野を広げていきます。



美術 Bunkamura ザ・ミュージアム

渋谷ヒカリエなどでテーマ性・先見性・話題性を持った展覧会を開催してまいります。

開催中の展覧会

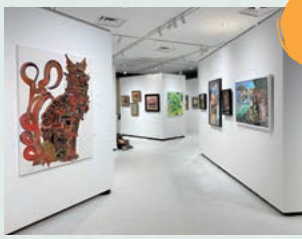
- ウェス・アンダーソンすぎる風景展 in 渋谷 2023/11/25(土)~12/28(木) 渋谷ヒカリエ9階「ヒカリエホール」



美術 Bunkamura Gallery 8/

渋谷ヒカリエ8階

大きなガラス面を持つ開放的な「Bunkamura Gallery 8/」は、さまざまなアートを発信するユニークな空間です。



映画館 Bunkamuraル・シネマ 渋谷宮下

渋谷区渋谷1-24-12 渋谷東映プラザ7階&9階

2023年6月に新たな映画館「Bunkamuraル・シネマ 渋谷宮下」がオープンしました。30余年培ってきたBunkamuraカラーを携えながら、渋谷駅前・宮下エリアならではの刺激的なエネルギーを吸収し、これからの未来にひらかれた映画館を目指します。



能楽堂 セルリアンタワー能楽堂

総客席数：201席

渋谷区桜丘町26-1 セルリアンタワー東急ホテル地下2階

世界に向けた伝統文化の発信機能を担う施設として、能・狂言のほか、日本舞踊・邦楽演奏・落語などの伝統芸能、演劇・コンサートなどの公演や発表会など文化交流の場として幅広くご活用いただいています。



このマークが付いている施設は株主優待をご利用いただけます。詳しくは、P.8の株主優待情報をご参照ください。

Bunkamura

「Bunkamura」は、1989年9月に日本初の大型複合文化施設として開業しました。東急百貨店本店跡地の開発計画、「Shibuya Upper West Project」に伴い、オーチャードホールを除き長期休館していますが、Bunkamuraの活動は渋谷および東急線沿線の周辺施設や東急グループ各施設などで継続しています。

施設(ジャンル)	営業状況および主催事業
オーチャードホール (音楽・舞踊など)	日曜・祝日を中心に営業を継続。自主制作公演は「横浜みなとみらいホール」など他会場の使用を含めて開催。
シアターコクーン (演劇)	自主制作公演は東急歌舞伎町タワー6階「THEATER MILANO-Za」など他劇場にて開催。
ザ・ミュージアム (美術)	渋谷ヒカリエ9階「ヒカリエホール」などで展覧会を開催。
ル・シネマ (映画)	渋谷東映プラザ7階&9階に移転。施設名は「Bunkamuraル・シネマ 渋谷宮下」(2スクリーン)。
ギャラリー (美術)	渋谷ヒカリエ8階「クリエイティブスペース8/」に移転。施設名は「Bunkamura Gallery 8/」。

劇場 Bunkamura オーチャードホール

総客席数：2,150席

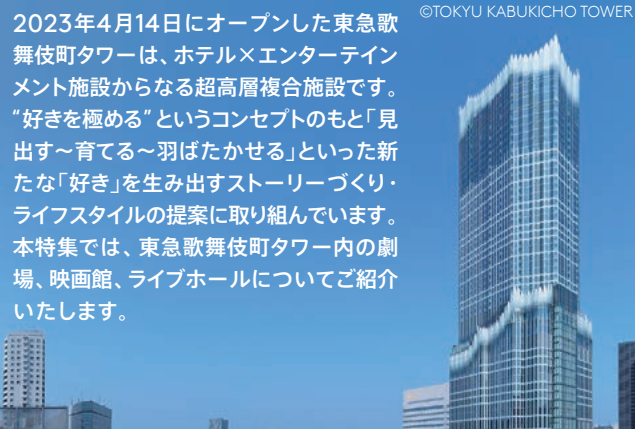
渋谷区道玄坂2-24-1

「オーチャードホール」は、天井が高く、垂直の両側壁、浅いバルコニーを持つ「シューボックス型」を採用した、国内最大規模のホールです。高く平らな天井(高さ約20m)と、垂直で大きな側壁に、音が何度も繰り返し反射して、重厚で豊かな音場を生み出しています。



東急歌舞伎町タワー

新宿区歌舞伎町1-29-1



2023年4月14日にオープンした東急歌舞伎町タワーは、ホテル×エンターテインメント施設からなる超高層複合施設です。“好きを極める”というコンセプトのもと「見出す～育てる～羽ばたかせる」といった新たな「好き」を生み出すストーリーづくり・ライフスタイルの提案に取り組んでいます。本特集では、東急歌舞伎町タワー内の劇場、映画館、ライブホールについてご紹介いたします。

©TOKYU KABUKICHO TOWER



東急歌舞伎町タワーで“好きを極める”!

東急歌舞伎町タワーは開業以来、多くのお客さまにご来館いただいています。施設のコンセプトである“好きを極める”を具現化するため、館内全体で連携を行いあらゆる角度からコンテンツをお楽しみいただける体験をお届けし、お客さまの“好きを極める”を叶える場を提供します。今後も、国内外のお客さまに楽しんでいただける施設を目指します。さらに、地域団体なども連携し、エンターテインメント文化の発信やナイトタイムエコノミーの活性化などに寄与することで、まちの回遊とにぎわいを創出していきます。



隣接するシネシティ広場でのライブ同時中継の様子

株主優待
(1,000円値引き)

映画館

109シネマズプレミアム新宿

東急歌舞伎町タワー9階～10階

「109シネマズ」の新しいブランドとなる「109シネマズプレミアム」では、これまでの映画館の常識を覆す、上質な鑑賞環境とおもてなしで、こころゆくまで映画の世界に没入いただけます。さらに、映画にとどまらない多様なエンターテインメントコンテンツを、新宿歌舞伎町に集うさまざまなお客さまにお届けします。



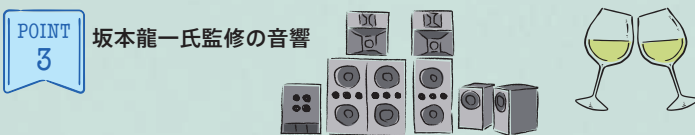
「ScreenX」



POINT 1 上質な専用ラウンジ



POINT 2 全席プレミアムシート



POINT 3 坂本龍一氏監修の音響

株主優待
(ご招待)

美術

五島美術館

世田谷区上野毛3-9-25



五島美術館は、東急グループの元会長五島慶太が、半生をかけて収集した日本・東洋の古美術品を根幹に、1960年に開館しました。2017年には、本館と庭園内の茶室「富士見亭」「古経楼」が、国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。展示会を年間6～7回開催。展示品は展示会ごとに替わり、春と秋に開催する名品展では、五島美術館と大東急記念文庫のコレクションから各分野の代表作品を紹介しています。特に国宝「源氏物語絵巻」は毎年春に、国宝「紫式部日記絵巻」は秋に、それぞれ1週間程度公開しています。また、美術鑑賞と合わせて、約20,000m²の美しい庭園の散策もお楽しみいただけます。



五島美術館本館
photo by Shigeo Ogawa



庭園内「赤門」
photo by Katsuo Meikyo



国宝「源氏物語絵巻」



劇場

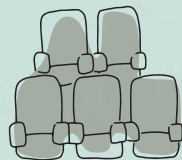
THEATER MILANO-Za

客席数：約900席



東急歌舞伎町タワー6階

歌舞伎町とともに発展した新宿ミラノ座の名前を継承するライブエンターテインメントシアター。アーティストと観客がお互いの鼓動や息遣いを感じられる約900席の空間で、演劇・音楽・映像などの多彩なエンターテインメントコンテンツを発信します。



ライブ
ホール

Zepp Shinjuku (TOKYO)

東急歌舞伎町タワー地下1階～地下4階



エリア最大級1,500名のキャパシティをもつライブホール。これまでのZeppホールよりもコンパクトなサイズ感のため、アーティストとの距離が近く、最新の映像設備により臨場感あふれる音楽体験を可能にします。さまざまなジャンルの音楽アーティストを招き、新しい音楽コンテンツを国内外に発信していきます。



今後の主な公演、展覧会スケジュール

Bunkamuraオーチャードホール

- 2024/1/2(火)、3(水) 「東京フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤーコンサート2024」
- 2024/1/8(月・祝) 「N響オーチャード定期 2023/2024 126回」

Bunkamuraル・シネマ 渋谷宮下

- 2023/12/8(金)公開 「ウォン・カーウァイ ザ・ピギニング」
- 2023/12/15(金)公開 「ポトフ 美食家と料理人」

Bunkamura Gallery 8/

- 2023/12/23(土)～2024/1/8(月・祝) ※1/1, 1/2 休廊 「レイモン・サヴィニャック展」

東急シアターオーブ

- 2023/12/16(土)～25(月) 「ブロードウェイ クリスマス・ワンダーランド2023」
- 2024/1/6(土)～8(月・祝) 「ニューイヤー・ミュージカル・コンサート2024」

セルリアンタワー能楽堂

- 2024/1/1(月・祝)、2(火) 「二〇二四年 正月公演」
- 2024/1/13(土) 「狂言の会一茂山狂言会一新作!?!や、もはや古典!!」
- 2024/2/4(日) 「定期能二月一金剛流ー」

五島美術館

- 2023/12/13(水)～2024/2/12(月・振) 「館蔵：茶道具取合せ展」
- 2024/2/20(火)～3/31(日) 「館蔵：中国の陶芸展」
- 2024/4/6(土)～5/6(月・振) 「館蔵：春の優品展」
- 2024/4/27(土)～5/6(月・振) 国宝「源氏物語絵巻」の期間限定展示

▼ 東急歌舞伎町タワーの各施設の公演予定は、各HPをご参照ください。

THEATER MILANO-Za

📄 <https://milano-za.jp/events/calendar>



109シネマズプレミアム新宿

📄 <https://109cinemas.net/premiumshinjuku/#schedule>



ZeppShinjuku (TOKYO)

📄 <https://www.zepp.co.jp/hall/shinjuku/schedule/>



東急のいまをつたえる

TOKYU NEWS FLASH

◆ 2023年4月

川崎とどろきパーク(株)による等々力緑地の事業開始

当社、富士通(株)、丸紅(株)、オリックス(株)ほか5社が共同出資により設立した川崎とどろきパーク(株)は、2023年4月より等々力緑地の運営・維持管理業務などを開始しました。当社は、川崎とどろきパーク(株)の筆頭株主として、これまで培ったまちづくりのノウハウや人的資源の提供、当社および当社グループによるさまざまな業務支援など、川崎とどろきパークを強力に支援し、東急線沿線にスポーツを軸とする新たなエンターテインメント拠点の創造に貢献していきます。



球技専用スタジアム 整備後のイメージ



◀ 詳細はこちら
https://www.tokyu.co.jp/company/news/list/Pid=post_492.html

◆ 2023年8月

東横線で有料座席指定サービス「Q SEAT」を開始

東横線で有料座席指定サービス「Q SEAT」を8月から開始しました。「Q SEAT」は平日夜19:30以降の時間帯に、1日5本、4号車・5号車で運行しており、ゆったりとした座席に、電源コンセントとカップホルダーを設置しているほか、車内Wi-Fiも無料でご利用いただけます。



「Q SEAT」(4号車・5号車) 外観

「Q SEAT」(4号車・5号車) クロスシート状態内観



◀ 詳細はこちら
https://www.tokyu.co.jp/railway/ticket/types/q_seat/ty.html

◆ 2023年9月

東急の定額制回遊型宿泊サービス「TsugiTsugi」と西鉄ホテルズが提携

定額制回遊型宿泊サービス「TsugiTsugi」では、(株)西鉄ホテルズと業務提携を開始しました。これまで対象になかった鹿児島県や大分県など、主に九州地方の施設をさらに充実させ、より多くの方々の需要にフィットする宿泊施設を提供していきます。



ソラリア西鉄ホテル鹿児島



◀ 詳細はこちら
<https://tsugitsugi.com/>

◆ 2023年10月

沖縄県那覇市の中心地に「relark那覇」がオープン

ワークラウンジ「relark」が、那覇空港から約10分・ゆいレール「県庁前駅」直結のパレットくもじ8Fにオープンしました。通常座席に加えて、Web会議対応の個室ブースや貸会議室もご用意しております。沖縄でのワーケーションや出張時に有効活用いただき、ワークライフをさらに前向きに充実させる場所として、心からくつろげる居場所となることを目指します。



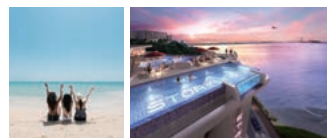
「relark那覇」



◀ 詳細はこちら
<https://www.relark109.com/naha/>

東急の沖縄進出60年、2024年には「STORYLINE 瀬長島」開業予定

1963年の「琉球東急ホテル」開業から、当社の沖縄での事業展開は今年で60年を迎えました。2024年4月11日には、那覇空港から一番近い島と呼ばれる瀬長島に立地し、遠浅の天然ビーチが目の前に広がるホテル「STORYLINE 瀬長島」が開業します。沖縄におけるホテルネットワークの充実を図り、地域観光の発展に寄与していきます。



「STORYLINE 瀬長島」



◀ 詳細はこちら
<https://senagajima-storyline.com/>

株主優待情報

発行基準日：9月30日
11月中旬送付
 有効期限：翌年5月31日まで

発行基準日：3月31日
5月中旬送付
 有効期限：11月30日まで

100株以上ご所有の株主の皆さまには、ご所有株式数に応じ、東急線または東急バスにご乗車いただける**株主優待乗車証**や、東急グループ各施設でお買い物・ご宿泊などにご利用いただける**株主ご優待券**をお送りしております。
また、5月発送分の株主優待より、共通ご招待券対象施設に「Bunkamura・シネマ 渋谷宮下」が追加、さらに109シネマズで使える「株主映画鑑賞優待券」も追加となりました。

所有株式数	株主優待乗車証(きっぷ式)	株主優待乗車証(バス券式)	株主ご優待券
100株以上	2枚	—	A
500株以上	5枚	—	B
1,500株以上	10枚	継続保有で5枚追加	
2,500株以上	20枚	—	
5,000株以上	40枚	—	
9,500株以上	80枚	—	
12,000株以上	10枚	継続保有で10枚追加	
14,000株以上	30枚	—	電車 全線パス1枚
28,500株以上	30枚	—	電車・バス 全線パス1枚

株主ご優待券利用店舗のご紹介

B 500株以上

A 100株以上500株未満

東急電鉄・東急バス 株主優待乗車券 A 上図参照	東急百貨店 お買い物 10%割引券 A 5枚	東急ストア お買い物 50円券 A 20枚	東急ホテルズ 宿泊ご優待券 ^{※1} A 4枚	東急ホテルズ 飲食代金 10%割引券 A 2枚	東急病院 人間ドック基本料金 10%割引券 B 1枚	Bunkamura ザ・ミュージアム/ ル・シネマ 渋谷宮下 ^{※2} 五島美術館 共通ご招待券 B 4枚	109シネマズ 映画鑑賞優待券 ^{※3} B 4枚
B 上図参照	B 10枚	B 40枚	B 8枚	B 4枚	B 1枚	B 4枚	B 4枚

※1 東急ホテルズコンフォートメンバーズ会員(無料会員組織)の株主さまは、お得な会員価格よりさらに割引した株主さま特別価格もしくは宿泊基本料金(定価)からの割引となります。
 ※2 Bunkamura の長期休館に伴い、「ル・シネマ 渋谷宮下(映画館)」を期間限定で対象施設に追加しております。
 ※3 全国の109シネマズ&ムービルにおいて1,000円でご鑑賞いただけます。109シネマズプレミアム新宿は、一般料金から1,000円引き。3D作品、IMAX[®]作品、4DX作品などについては、+追加料金となります。

各種制度(継続保有制度、家族合算優待制度)、優待についての詳細は右記Webサイトよりご確認ください。

株主優待情報
https://ir.tokyu.co.jp/ja/ir/stock_bond/complimentary.html





株主さま向け特別イベントのご案内 Bunkamuraル・シネマ 渋谷宮下

映画『^{ネオン}燈火は消えず』株主さま限定貸切鑑賞会

P3～6の特集「東急の文化施設」でご紹介した施設より、Bunkamuraル・シネマ 渋谷宮下での株主さま限定貸切鑑賞会へ特別にご招待いたします。

上映作品は、香港の夜景の象徴だったネオンが消えゆく今、それでもその灯を消さないと奮闘する職人たちの心意気と夫婦愛を描いて、第96回米アカデミー賞国際長編映画賞の香港代表作品にも選ばれた感動作『^{ネオン}燈火は消えず』。

上映前には、『Bunkamuraル・シネマ』プログラミングプロデューサーより、作品の魅力や背景のエピソード、ル・シネマ 渋谷宮下に託す想いなどを語ります。

レトロな魅力にあふれた非日常空間、ル・シネマ 渋谷宮下にて、株主さま限定貸切で映画『^{ネオン}燈火は消えず』の世界観にぜひ没入ください。

作品情報



https://www.bunkamura.co.jp/cinema/lineup/24_neonwakiezu.html ▶



英語題：A Light Never Goes Out | 中国語題：燈火闌珊 | 2022 | 香港映画 | 103分 | プロデューサー：サヴィル・チャン | 監督・脚本：アナスタシア・ツァン | 出演：シルヴィア・チャン、サイモン・ヤム、セシリア・チョイ、ヘニック・チャウ | 配給：ムヴィオラ

ご招待概要

日時： **2024年1月28日** ① 午前上映開始

(詳細は当選通知にてお知らせします)

会場：渋谷東映プラザ9階 Bunkamuraル・シネマ 渋谷宮下
(渋谷駅JR線宮益坂口、東急線・東京メトロ各線B2出口からすぐ)

応募〆切： **2023年12月25日** ①

当選結果のご案内：当選者さまへの招待状の発送をもって代えさせていただきます。

当選人数： **187名さま** (1組1～2名さま、応募時に申込人数をお伺いします)

※ 未就学のお子さまのご参加はご遠慮ください。 ※ お席は事前に決めさせていただきます。ご希望は承れませんので、あらかじめご了承ください。

応募方法

Webサイト

右記URLまたは二次元コードからご応募ください。

当社ホームページのトップページからは以下のようにアクセスいただけます。

東急HOME > 株主・投資家の皆さまへ > 株主の皆さまへ > (お知らせ)株主さま特別イベントのご案内

株主イベント・キャンペーン 応募Webサイト
<https://www.tokyu.co.jp/kabunushievent/index.html> ▶



はがき

はがきに右の事項をすべてご記入のうえ、ご応募ください。

- 株主さま氏名(ふりがな) ● 性別 ● 年齢 ● 郵便番号 ● 住所 ● 電話番号
- 株主番号(同封の配当金計算書の右上に印字されています)
- 車椅子スペースのご利用希望の有無 ● 申込人数(1名or 2名)

はがきで応募の方は、下記アンケートにもお答えください。

- Q1** 他社の株主向け情報配信方法で魅力に思うものはありますか？
右の選択肢より番号を選びご記入ください。
- Q2** 東急グループの株主向け情報について、どのような方法での配信を希望しますか？
右の選択肢より番号を選びご記入ください。(①、②以外は現在未実施です。今後の参考のためお伺いします)
- Q3** 株主通信誌面に取り上げてほしい内容を教えてください。(最大3つ)
以下の選択肢よりアルファベットを選びご記入ください。
a 社長挨拶、**b** 決算情報、**c** 新施設の紹介、**d** 東急グループの歴史、**e** お得情報、**f** イベント、**g** プレゼント、**h** 経営戦略、**i** 東急グループサービスのご案内、**j** 東急沿線で実施するイベントの紹介

Q1、Q2回答選択肢

- ① 株主通信などの紙媒体
- ② 公式HP (投資家向けHP)
- ③ メールでの株主向け情報配信
- ④ 株主向け会員サイトでの情報配信
- ⑤ SNS (サービス名を教えてください)
- ⑥ その他 (自由記述)
- ⑦ とくになし

- 送付先 〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘1-8-1 CO-NIWAたまプラザ B棟 2F 東急株式会社 セラン事務局 株主さま特別イベント受付係
- お問い合わせ先 TEL 03-3477-6228 9:00～17:00 ※年末年始などを除く(東急お客さまセンターにて承ります)

- ご注意**
- お申し込みは、お一人さまにつき1回限りです。
 - ご応募に際していただいた情報は、必要な範囲でのみ利用いたします。
 - 応募多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。
 - 複数ご応募された場合、応募を無効とさせていただきます。

会社情報

会社概要

商号 (英文名)	東急株式会社 TOKYU CORPORATION
設立年月日	1922年9月2日
本店所在地	〒150-8511 東京都渋谷区南平台町5番6号
事業内容	不動産賃貸業、不動産販売業、その他事業

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権：毎年3月31日 期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告により行う https://www.tokyu.co.jp/koukoku/index.html

株式に関するお問い合わせ先

(住所・姓名などの変更、配当金の受取方法・振込先の変更、単元未満株式の買取・買増の請求など)

【証券会社に口座を開設されている株主さま】
口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

【証券会社に口座を開設されていない株主さま】(特別口座の株主さま)
連絡先：〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

0120-782-031

(フリーダイヤル・平日9:00～17:00)

URL: <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

企業情報
<https://www.tokyu.co.jp/company/> ▶



株主・投資家の皆さまへ
<https://www.tokyu.co.jp/ir/investors.html> ▶



表紙の解説

「N響オーチャード定期」

N響

「N響オーチャード定期」の詳細はこちら
<https://www.bunkamura.co.jp/orchard/lineup/nkyo/> ▶



日本を代表するオーケストラ、NHK交響楽団 通称「N響」。N響は、1998年9月からBunkamuraオーチャードホールでの定期演奏会を開催しており、今年で25周年を迎えました。

四半世紀の節目である2023/2024シリーズでは、初の試みとして「東横シリーズ」と題し、Bunkamuraオーチャードホールと横浜みなとみらいホールの2拠点でお届けします。2024年7月までの公演では、ブラームスのすべての交響曲と「ハンガリー舞曲」などの名曲をお聴きいただけます。世界の巨匠達と重厚なN響サウンドで贈るブラームス・チクルスを、ぜひご堪能ください。



TOKYU 100 Years time train

100年に一度の再開発 渋谷



2023年11月に渋谷のシンボル「ハチ公」も、生誕100年を迎えました。当社は、HACHI 100パートナーとして、ハチ公生誕100年事業を応援しています。

東急グループは、2022年9月に創立100周年を迎え、これからの100年に向けて歩みを進めています。シリーズ最終回となる今回は「100年に一度」といわれる、渋谷の再開発についてご紹介します。



過去 渋谷駅周辺空撮
(昭和30年代撮影)



渋谷ヒカリエ開業後の渋谷駅
周辺中心地区の空撮(2012年撮影)



2027年度頃の渋谷駅周辺のイメージ
(上空よりのぞむ)

未来

東急グループにとって「渋谷」は、創業以来の最重要拠点であり、また、私たちのまちづくりを象徴する街でもあります。

振り返ると、渋谷に初めて線路を敷いた日から今日に至るまで、沿線にお住まいの方の便利な暮らしと、街を訪れる方への楽しいひとときの提供を目指し、東急百貨店やトレンド発信地SHIBUYA109、複合文化施設Bunkamuraといったさまざまな拠点をつくってきました。その傍ら、渋谷を安全・安心、便利で快適な街にするために、複雑になった街の構造の見直しや災害時対策など、顕在化した社会課題に向き合い続けています。

これからも私たち東急グループは、地域の皆さまや行政機関と協働しながら、総合的なまちづくりを推進し、美しい生活環境を創造していきます。



提供：渋谷二丁目17地区市街地再開発組合

SHIBUYA AXSH
渋谷アクシュ
(2024年度上期開業予定)



Image by Proloog/Copyright: Snehetta

Shibuya Upper West Project
(2027年度竣工予定)

発行元

東急株式会社 社長室 総務グループ
〒150-8511 東京都渋谷区南平台町5-6

お問い合わせ先

TEL 03-3477-6228 9:00~17:00
※年末年始などを除く(東急お客さまセンターにて承ります)



2023年12月



Printed in Japan